

# 現在の研究所と各調査及び研究課題のとりまとめ

## □「土地利用型農業の経営継承問題」に関する研究班会議の開催

(一〇月二七日)

会議開催に併せて、異業種での経営継承問題に関する研修会を開催しました。

- ①研修テーマ・商工業における経営継承の現状と国の取り組みについて
- ②講師・札幌商工会議所 北海道事業引き継ぎ支援センター  
総括責任者 村越憲三氏



北海道農業公社委託事業研究班会議

## □「担い手確保問題と集落機能」

### に関する研究班会議の開催

(一〇月二八日)

会議開催に併せて、人口減少下での地域対策に関する研修会を開催しました。

- ①研修テーマ・人口減少時代におけるコープさっぽろの社会

貢献活動について

- ②講師・コープさっぽろ 専務理事

中島則裕氏

## □帯広市で「参議院TPP特別委員会地方公聴会」を開催

(十一月一七日)

当研究所の協力研究員である東山寛北大准教授がこの公聴会の質疑の中で、TPP協定の国会承認に反対する立場から意見陳述を行いました。

東山准教授は、①TPP合意内容と国会決議との整合性には大きな「疑問符」がつく②TPP対策の妥当性について、国境措置の後退に伴う保護財源の喪失とTPP対策の充実が両立するかがポイントだが、財源確保に関する説明不足と国民合意の不十分さから、その是非を判断するには材料不足である③国会



自主研究研究班会議

左から2人目が講師の中島則裕専務理事



第4回理事会 札幌全日空ホテルにて

## □ 第四回理事会の開催

新規会員の加入、平成二八年度の事業進捗状況、調査研究事業の実施状況などについて報告しました。併せて、坂下理事



意見陳述をする東山准教授

【写真は北海道協同組合通信社様よりご提供いただきました】

(十二月六日)

承認の是非では、今はトランプ政権の出方を見極めることが大切なので、TPP協定の国会承認を進めることは得策ではない、と述べました。  
意見陳述の内容は、今号の「特集 II TPP国会承認」に掲載しています。

(北海道大学大学院農学研究院教授) より、規制改革推進会議によるクミカン廃止提言の誤りとクミカン制度の先進性について、話題提供していただきました。

## □ モニター会議の開催

(十二月七日)

農業者の生の声を聞かせて頂くことでタイムリーな地域の情報を収集し、農業を取り巻く情勢の変化に的確に対応した調査研究を推進する為

に開催しました。会議に続いて、天使大学教授荒川義人氏に「生消費連携と農畜産物加工品の販売促進」という演題でご講演いただきました。

会議の内容は、今号の「研究所だより」に掲載しています。

## □ 「ホクレン一〇〇年史編纂支援業務」研究班会議の開催

(十二月二十一日)

支援業務内容について、協議し確認しました。

## □ 平成二八年度農業総合研修会の開催

(平成二九年一月一日)

① 例年十二月に札幌で開催している農業総合研修会を、本年度は事業計画に基づき地方で開催することとしました。

② 開催場所…北見市 北見市民会館

③ 演題…グローバル化の中での北海道農業・オホーツク農業の今後の方向

④ 講師…北海道大学大学院農学研究院 准教授 東山寛氏

⑤ 尚、講演の内容は四月発行の機関誌(春号)に掲載いたします。

## □ 年末年始の業務について

年末は十二月三〇日で業務を納め、新年は六日から業務を始めます。